

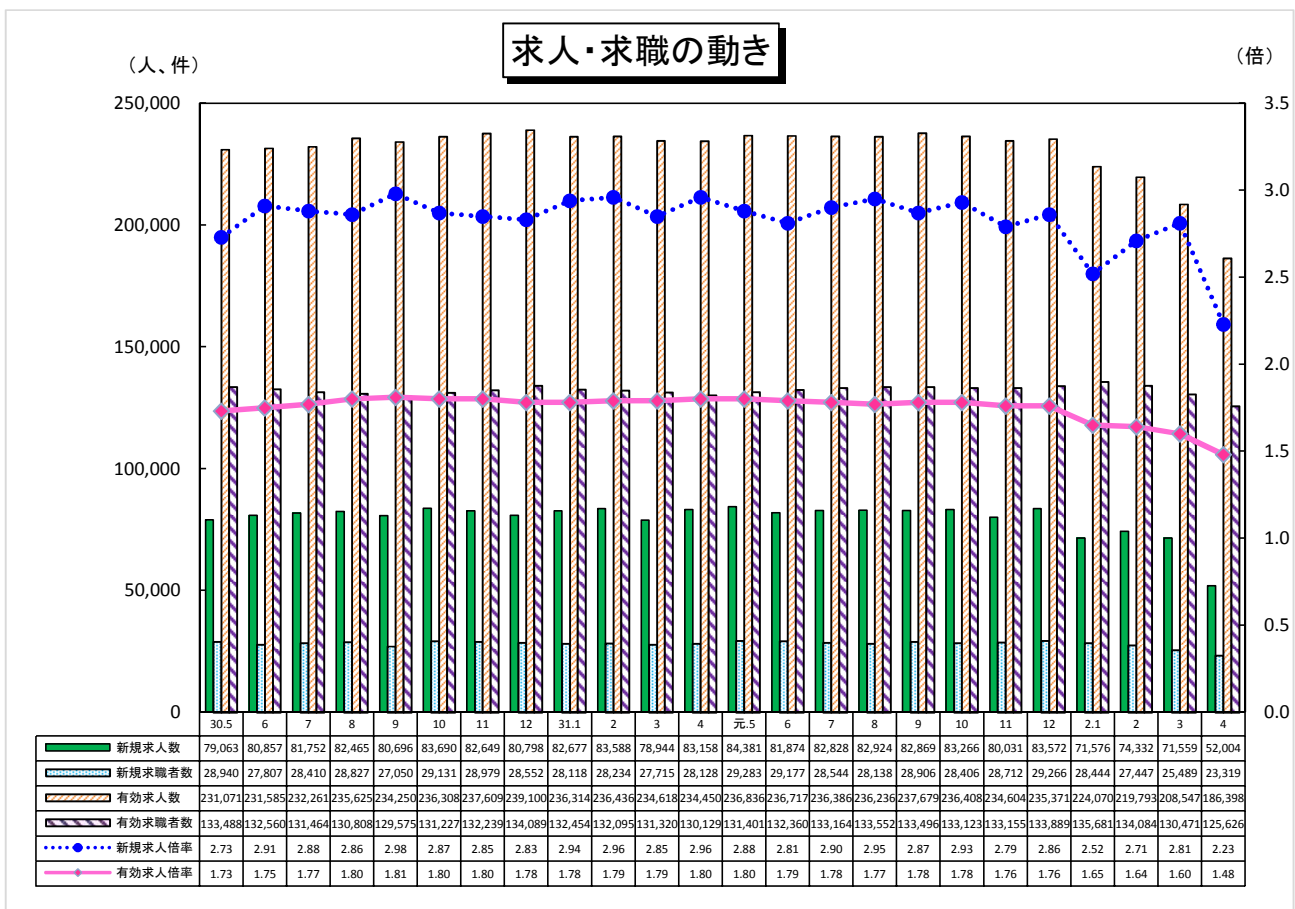
令和2年4月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の令和2年4月の有効求人倍率(季節調整値)は1.48倍となり、前月より0.12ポイントの低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.23倍となり、前月より0.58ポイントの低下となった。

(求人・求職の動き)

- 4月の新規求人数(季節調整値)は前月比27.3%減となり、有効求人数(同)は前月比10.6%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比8.5%減となり、有効求職者数(同)は前月比3.7%減となった。
- 4月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると35.7%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比34.2%減)、製造業(同48.5%減)、情報通信業(同33.9%減)、運輸業、郵便業(同27.4%減)、卸売業、小売業(同45.1%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同46.1%減)、宿泊業、飲食サービス業(同36.5%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同49.0%減)、教育、学習支援業(同34.8%減)、医療、福祉(同25.5%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同36.7%減)と全産業で減少となった。



(注)各月の数値は季節調整値。R2.2季節調整替。